

令和2年度 職員提案及び業務改善報告制度の実施報告

1 制度の定義

- (1) アイデア提案 自己の所属する課又は自己の所属する課のみでは実施できない新たな事業の提案
- (2) 事務提案 自己の所属する課以外の課が所掌する事務又は事業に関する業務についての改善の提案
- (3) 業務改善報告 自己の所属する課が所掌する事務又は事業に関する業務の改善についての報告

2 提出状況

単位：件

令和2年度（カッコ内：令和元年度）			
職員提案		業務改善報告	合計
アイデア提案	事務提案		
22（25）	38（23）	257（295）	317（343）

3 褒賞対象件数

単位：件

アイデア提案		事務提案		業務改善報告	
1級	1	感謝賞	4	改善1級	1
2級	1			改善2級	1
3級	1			改善3級	1
特別賞	2			改善4級	7
※令和元年度 事務提案：感謝賞7件				ピカ⑩イチ賞	10

4 表彰対象案件

(1) アイデア提案（5件）

※令和4年4月1日に迎える平塚市の90周年を自由な発想で盛り上げることを目的に、令和2年度はテーマ「市制施行90周年」を設定

◆1級「障がいのある児童と健常者が一緒に遊べる遊具の設置提案～多様な個性が輝く共生のまち ひらつかを目指して～」

提案のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ある雑誌の記事に、いろいろな子供が楽しめるように視覚・聴覚・触覚も使って遊べたり、車いすに乗ったまま遊べる遊具が欲しい」という、障がい者のお子さんをもつお母さんの声が掲載されていた。 その記事をきっかけにして、基準等の実態を調査したところ、いわゆるバリアフリー化推進法でも、遊具に関しては基準がなく、現時点では国立や都立の公園の一部で設置されているにとどまっていることが判明した。 さらに、障がい者福祉計画策定時のアンケートでは、障がい児と健常者の双方が、「障がいのある人もない人も、お互いに理解し合いながら共に生き生きと生活していける社会を作るためにはどうしたらよいか。」の設問に、「幼少期から障がい児や障がい者と自然に関わることが出来る環境」についてを一番に回答するなど、共通認識を持っている事実が見えてきたことから提案することとなった。
---------	---

<p>提案の概要</p>	<p>■提案の具体的内容</p> <p>「健常児だけでなく、障がい児も遊べる遊具を設置する。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすに乗った子も遊べる滑り台 ・音がなることで、視覚障がい者が楽しめる遊具 ・体を支える力が弱い方でも楽しめるブランコ 等 <p>■実施方法</p> <p>① 設置場所の適地を選定する。</p> <p>選定の条件としては、車いすの方の遊具などは、通常の遊具よりも場所を広くとる必要がある。障がい者のアクセス等を考慮すると、駐車場が整備されていて、園内のバリアフリー化がなされていること等が条件となってくる。具体的には、大原総合公園等が候補となってくることから、担当課と調整をする。</p> <p>② 障がい者の意見を聞きながら設計する。(R3年度)</p> <p>既存製品に限られる中、場合によっては、専用設計が必要となる。また、適地選定や遊具設計にあたっては、障がい者の方から、ワークショップ等で意見を聞きながら進める。</p> <p>③ 設置工事をする。(R4年度)</p> <p>④ 工事と同時に利用に向けたルール・マナーづくりを進める(R4年度)</p> <p>遊具は、障がい児専用ではないので、健常児と障がい児が参加するワークショップ等で、一緒に遊べる環境のルールやマナーを作ることで、一緒に当たり前の世界の雰囲気づくりの醸成をする。</p> <p>⑤ オープニング(R4年度)</p> <p>オープニングイベントを開催し、障がいのある人もない人も、誰もが自然に助け合い支え合う「一人ひとりが輝く街 ひらつか」のPRをする。</p> <p>⑥ 遊具を一つの手段・場として継続的な啓発事業の実施(R5年度以降)</p> <p>■実施体制</p> <p>次の3課で協議し進める。必要に応じて、他課も加わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合公園課・・・・・・・・・・設置候補場所 ・みどり公園・水辺課・・・・・・・・遊具設置工事を担当する ・障がい福祉課・・・・・・・・・・障がい者福祉計画を所管
--------------	--

◆2級「平塚の街にSLを走らせる！ ～昔を振り返り、未来に向かって」

<p>提案のきっかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・城跡をVRにより再現し、城跡観光や歴史ファンに注目されている事例を見て。 ・5G通信サービスが始まり、今後本格化するであろうことを見込んで、AR(Augmented Reality(拡張現実))、VR(Virtual Reality(仮想現実))等のデジタル処理技術が、手軽に活用できると考えたため。イベントをきっかけに、テレビ番組に採用・紹介されれば、平塚をPRするきっかけにもなると考えたため。
<p>提案の概要</p>	<p>1 平塚の歴史を振り返る。</p> <p>(1) 戦中の火薬廠、戦災、戦後の復興、工場群、商店街など、平塚の要所をデジタル技術で再現</p> <p>(2) 現地でデジタル端末を使って、今の様子と、当時の様子を比べながら、公募した当時を知る人やボランティアがガイドしながら、昔を振り返るイベント開催。その一環で、文化公園内に保存しているSLをデジタル技術で動かす。</p> <p>【イベント開催(SLを走らせる)の内容】</p> <p>注目イベントとして、平塚駅から火薬廠(横浜ゴム等工場群)へ貨物引込み線があったことに着目し、廃線跡に貨物込み線とSL走行を再現。文化公園内のSLは、約50年前に市民の要望から、この引き込み線を使って、現在地に保存が実現したとのこと。</p> <p>廃線跡をたどりながら、鉄道ファン、子どもたちは楽しみ、当時を知る年配者も一緒に、</p>

	<p>街づくりの足跡、鉄道と共に戦災復興してきたことを顧みることができる。市制90年の2022年、SLが平塚に来て53年目、平塚のこれからの未来に向かって動き出す。</p> <p>さらに、市名の由来である「平の塚」に始まり、須賀みなど、中原御殿、大山参りから、戦中、空襲、戦災復興でここまで発展したあゆみ、鉄道を絡めれば、プラタモリも夢ではないかも？</p> <p>2 これからの未来へ</p> <p>子供たちが想像する平塚の未来、希望、未来像をVRで実現。現実と未来像を重ね合わせて、街なか探検。</p> <p>駅前、商店街、見附台、海岸線、大神地区、ツインシティ、大規模開発、大学移転後、土屋里山の将来…。</p> <p>5G通信サービスが始まり、今後本格化するであろうことを見込んで、AR、VRの技術を活用。実際の制作には、大学や企業、市民の協力を得る。</p>
--	--

◆3級「平塚の街をみんなでデザイン～市民からのメッセージ～」

提案のきっかけ	<p>○JTの一環として業務改善等に取り組む中、上司から企画のヒントを得たことがきっかけ。</p>
提案の概要	<p>○概要</p> <p>平塚の街をキャンバスとして絵や文字を描き、ドローンに高精細カメラを搭載し撮影</p> <p>*キャンバスは、</p> <p>学校の校庭や公園、砂浜、マンションや事業所の屋根や屋上、休耕田や耕作地等</p> <p>○市民や企業への声掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業記念や企業等の創立記念イベント ・地域の行事として <p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨大な文字（メッセージ）や絵画等の制作過程で生まれる一体感。 ・撮影した素材は、企業であれば自社パンフレットやHPでPR。 ・学校では卒業アルバム等の素材として。 <p>○メディアとの相乗効果を高めるため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等の学園祭とコラボ ・市内上空をメディアが空撮する機会を活用（七夕まつりや箱根駅伝の期間中） <p>○誰もが何らかの方法で参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の出展者として ・空撮した映像を3Dで体験 ・美術館や市役所多目的スペースでの展示を閲覧 <p>○観光素材として活用できる作品を集めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベルマーレの試合開始前や、平塚駅やららぽーと等のデジタルサイネージで映像を流す。 ・ポストカード化等で2次利用。 ・平塚市公式インスタグラムへ投稿する。

◆特別賞「市制90周年ひらつかオリジナル記念品「ひらつか歴史シリーズ」の開発」

<p>提案の きっかけ</p>	<p>平塚市入庁以前に地域の歴史・文化を発信する複数の地域博物館で勤務してきた経験の中で、博物館における地域の歴史・文化を背景としたミュージアムグッズが地域のシンボルとして、海外ホームステイ体験などの際のお土産に活用される場面などを見てきた。こうした経緯から、市制90周年、そして100周年への向かうこの機に、平塚の魅力をアピールするオリジナルグッズがあればと考え、提案した。</p>
<p>提案の 概要</p>	<p>1 具体的な内容と実施方法 (1) 記念品の開発 ア 庁内でワーキンググループを立ち上げ、具体的な予算を基に記念品の種類(数)、内容、名称、数量、などを検討。 イ 試作・庁内でのコンセンサス ウ 業者選定 エ 製作・納品 ※保管場所も検討課題 (2) 記念品贈呈の検討・開拓 ア (1)アと平行して、検討。 イ アの検討に基づいて、関係課と連携、令和4年度の各種事業の表彰式などで贈呈。</p> <p>2 具体例 (1) 緑釉陶器(りょくゆうとうき)小皿セット 平塚市内の遺跡から出土した緑釉陶器をモデルとした2~6点程の小皿セット。古代の高級施釉陶器は、日常的な食器としてだけでなく、鑑賞用・贈答用にも適していると思われる。 (2) 焼き印入り和菓子 平塚市内の遺跡から出土した人面墨書土器や銅印や焼印の絵や文字をモチーフに焼印を製作し、市内の和菓子店などとコラボレーションし、饅頭などの和菓子に焼印を押したものを販売してもらおう。例えば都まんじゅう。 ※(1)(2)ともに、遺跡から出土した実物を紹介する解説用紙や冊子などを添付する。内容はやや専門的なものと、わかりやすいものを併記し、写真やイラストを多用し、目をひくものとする。</p>

◆特別賞「H・SDGs(ひらつかSDGs) ~90人の輪からはじめよう!未来のひらつか~」

<p>提案の きっかけ</p>	<p>未来のまちづくりには、市民の主体的参加が不可欠と考えますが、市制90周年を良い機会と捉え、市民の生の声を残していくことが、後年の市政運営にとって、レガシーの一つ(ソフト面)になるのではと考えました。</p>
<p>提案の 概要</p>	<p>①SDGsの17のゴールのパネルを作成します。 ②YouTubeなどに顔出しで出演しても良い市民や団体を市制にちなんで90募集します。(募集条件等は要精査) ③出演決定者は①の17パネルのうちから1枚を選択し、選んだパネルに関連する未来のひらつか像(こうなったらいいな)を考えます。 ④自己PR(特技披露なども可)などとともに、③について持ち時間を決め、平塚文化芸術ホールで「市民の声」として撮影します。(選んだパネルとともに撮影) ⑤YouTubeなどで世界に配信して平塚をPRするとともに、市制90周年のイベントとして記憶に残します。 ※コロナ禍に配慮してリモート撮影での参加も可です。最後に分割画面など、90人の市民の輪とします。</p>

(2) 事務提案 感謝賞 (4件)

標題	提案の概要
トイレの衛生面改善	<ul style="list-style-type: none"> ・便座除菌設備の設置 トイレの個室には除菌設備がなく、不特定多数の方が利用しているにもかかわらず、除菌等を行うことが出来ないため ・洗剤の出る量、濃度の改善 手を洗う際の洗剤の出る量が少なく、濃度も薄く、洗浄できている感じがしない。 (市民から「全然洗剤が出ない」、「泡立たない」と意見を頂きました。)
広報ひらつかに平塚市公式SNSの紹介コーナーを常設	<p>広報ひらつかにLINE、Facebook、Twitter、Instagramの4つの公式SNSを紹介するコーナーを常設します。アクセス方法として2次元コードを掲載します。</p>
固定資産(家屋)の家屋調査補助業務の委託	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の家屋調査業務(外観確認)を外部委託 地図作成業者においては、従来行っている地図作成業務において市内全域の家屋を把握する必要があり、当該業務の延長で家屋の状況調査(外観確認)をできることが想定される。委託費用の観点においては、前記のことから費用を抑えることが期待できる。 具体的な業務の内容は、課税の基準となる毎年1月1日の家屋の状況を把握すること前提に、前年度の家屋の状況に対して今年度(毎年12月31日まで)の状況を把握する業務を委託する。(外観による家屋の増減(新築、滅失)や用途変更(居宅から店舗など)の状況確認) 併せて、当該調査業務(市内全域の家屋を外観調査)をベースとして、土地担当でも活用できる情報収集、他課においても簡易な調査報告内容の追加によって情報を活用できるかなども検討されたい。(空き家対策業務など) 費用については、委託内容の性質上、継続して同業者に複数年の調査をさせることにより効果が高まることから、債務負担行為等を活用して複数年契約をすることで費用圧縮を図られたい。また、提案内容の実施が困難な場合は、会計年度任用職員による地図データ等を基にした目視による家屋の異動確認などの方法も検討されたい。
職員提案に対する意見書のオープンソース化について	<ol style="list-style-type: none"> ① 事務提案を受けた課が事務提案者に回答した「職員提案に対する意見書」を行政総務課の事務提案関連のキャビネットに保存し、全庁職員が閲覧できるようにする。 ② 意見書の内容に不明な内容や間違った記載があれば、閲覧してそれらのことに気づいた職員が誰でも指摘できるような庁内ポストを設置する。指摘事項は、事務局を通じて担当課に送付し、担当課は指摘に対する意見書を作成する。作成された意見書は、指摘した職員とそれぞれの事務提案の提案者に送付する。 ③ 「職員提案に対する意見書」内の「実施の見通し」の項目について、「1：1年以内に実施できる」「2：アイデアは有効であり、条件を整えて実施したい」「3：アイデアは有効だが、実施のためには検討要する」と担当課から回答のあった提案内容が、その後どうなったのかを公表する。(提案は実施されたのか?実施されなかったら、どのような課題により実施されなかったのか?などを明確にする)※現在は、「褒賞受賞事務提案まとめ」として過去5年分の職員提案書(事務提案)がエクセル形式で公表されているだけであり、それらの提案が実際どのような状態になっているかが不明である。

(3) 業務改善報告



◆改善1級

改善課	改善名	概要
納税課	「PayPay」、 「LINEPay」始め ました！！ ～市税等の支払い～	スマホアプリの中でも特に利用者の多い「PayPay」と「LINEPay」を導入した。それぞれのアプリケーションをスマホにダウンロードし、スマホのカメラで納付書のバーコードを読み取り、残高から市税等の支払う仕組みとなっている。

◆改善2級

改善課	改善名	概要
病院総務課	患者さんへクリスマス	病院の庭園にあるモミの木にクリスマスイルミネーションを設置。また、職員に不要となったイルミネーションを募集し、寄付されたイルミネーションを増設した。

◆改善3級

改善課	改善名	概要
広報課	「手をつなぎたくなる街」ロゴも手洗いで感染症予防！	<p>新型コロナウイルスによる自粛要請や連日の報道で疲弊した市民に対し、少しでもポジティブなメッセージで行動変容を促すため、「手をつなぎたくなる街」ロゴの手が重なっている部分に、せっけんの泡を模したイラストを追加し、SNSで発信しました。</p> <p>[通常のロゴ] [手洗いロゴ]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"><div style="text-align: center;"><p>手をつなぎたくなる街</p></div><div style="text-align: center;"><p>手洗いで感染症を防ごう！</p></div></div>

◆改善4級

改善課	改善名	概要
障がい福祉課	【YouTube進出】身障手帳制度説明会	<p>説明会で説明している内容（全編約1時間半）を動画にしてYouTubeで公開した。</p> <p>作成した動画は、障がい等級に応じてまとめ、全体を5本にまとめて公開し、閲覧者が見やすいようにした。</p> <p>なお、動画の素材は、実際の説明会で使われるパワーポイントの原稿を使用。</p> <p>新規手帳取得者への説明会の案内文を送付する際には、動画のQRコードを同封し、窓口では、制度案内冊子と説明会の案内文とQRコードを配布するなど周知を図った。</p>

建築指導課	建築計画概要書プロット図の完全電子化と窓口受付時間の大幅短縮	既に庁内で運用されている統合型 GIS に地番マッチング機能を搭載し、概要書に記載された建築場所を照合することで概要書の電子プロット化を行い、建築年度に拘わらず一括して概要書を検索できるようにしました。また、電子プロット化と共に、概要書の PDF を紐づけ（ファイリング）し、瞬時に概要書の写しを発行することも可能にしました。 電子プロット化された概要書数：47,000 件 電子プロット化された建築年度：平成6年度から令和元年度
農業委員会事務局	G o T o Farm !	不登校、ひきこもり、ニート等の問題で悩みを抱えている方に農作業体験を通じて、自立のきっかけづくりをする。さらに、農業に興味をもってもらうことができれば、就農にもつながる。また、耕作放棄地で行うことにより、耕作放棄地解消にもつながる。 今、自立支援をしている「NPO 法人ぜんしん」と地域貢献で農作業の場を提供したいと希望していた農業法人「株式会社ガヤマファーム」のために、マッチングをコーディネートし、試験的に受け入れた。法人が手掛ける田んぼで3時間半の雑草取りを実施し、良い結果が得られた。
健康課	ひらつかはぐくみ葉酸プロジェクト	第1期（H30～令和元年度）：「健康づくりの推進連携協定」を締結している（株）DHC にチラシを作成してもらい、妊婦や関係者等に配布した。また、ネウボラに管理栄養士を配置し（課内異動）全初妊婦の栄養相談を実施した。さらに、市内産科医療機関には、妊娠期間中の葉酸指導を依頼した。 第2期（令和2年度～）：プロサッカー選手2名（現湘南ベルマーレ所属）から葉酸サプリメント（30日分/個）2000個の寄付を受け、4月から母子健康手帳交付時に一人1個配布している。また、妊娠計画時からの摂取率向上を目指し、7月末から市民課窓口において婚姻届時の任意配布を開始した（限定250個）。サプリメントにはオリジナルのチラシをつけ、正しい知識が得られるように工夫した。（DHC 作成）
消防署管理担当	全国初“ソーシャルディスタンス消防フェスティバル”360度動画配信でバーチャル消防士体験	コロナ禍における体験型イベントの新しい形 “ソーシャルディスタンス消防フェスティバル”をホームページ上で開催し、消防士バーチャル体験ができる360度動画を作成、配信（動画配信サイト YouTube） 消防フェスティバルは予算0円のイベントのため、撮影に使用した360度カメラは、リコージャパン株式会社から借用し、協力企業として同ホームページに掲載した。
経営企画課	入院患者面会用ビデオ通話の導入	タブレット端末を使用し、院内でビデオ通話が可能となる環境を構築した。 タブレット端末（iPad Air）を2台購入し、院内の職員専用 Wi-Fi に接続した。 患者家族には院内の共有スペースに来ていただき、患者側には担当看護師が付き添い、それぞれがタブレット端末を所持。無料アプリ「FaceTime」を使用してビデオ通話を行った。
職員課	職員採用試験の日時、選択できます。	面接の日時を、合格発表時に市のウェブサイトで見ることができるようにした。

◆改善5級 247件（ピカ⑩イチ賞10件含む。）

※ピカ⑩イチ賞とは、各課からピカイチ改善として推薦された業務改善報告の中から、庁内アンケート11位以下の報告者を対象に、厳正な抽選により10件抽出し、褒賞対象とするものです。

5 業務改善 課・部別提出状況

<課別順位>

単位：件

順位	課名	件数
1	保険年金課	51
2	病院総務課	21
3	事業課	14
4	消防総務課	11
5	職員課、固定資産税課、こども家庭課、予防課	10
9	障がい福祉課	9
10	中央公民館	8
11	行政総務課、市民税課、市民情報・相談課、消防救急課	6
15	介護保険課、環境政策課、環境施設課、教育総務課、警備第一課、警備第三課、経営企画課	4
22	農水産課、商業観光課、建築住宅課、会計課、監査委員事務局、情報指令課、警備第二課、医事課	3
30	契約検査課、納税課、文化・交流課、収集業務課、社会教育課	2
35	広報課、情報政策課、福祉総務課、保育課、健康課、青少年課、環境保全課、交通政策課、開発指導課、建築指導課、みどり公園・水辺課、道路管理課、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、スポーツ課、美術館、管理担当	1
52	秘書課、危機管理課、災害対策課、企画政策課、財政課、資産経営課、オリンピック・パラリンピック推進課、庁舎管理課、産業振興課、協働推進課、市民課、人権・男女共同参画課、高齢福祉課、地域包括ケア推進課、生活福祉課、まちづくり政策課、都市整備課、総合公園課、土木総務課、道路整備課、下水道経営課、下水道整備課、議会局、教育施設課、学校給食課、学務課、教職員課、教育指導課、教育研究所、子ども教育相談センター、中央図書館、博物館	0

<部別順位>

単位：件

順位	部名	件数
1	健康・こども部	64
2	消防本部・消防署	42
3	総務部	36
4	病院事務局	28
5	公営事業部、福祉部	14
7	社会教育部	12
8	環境部	11
9	市民部	8

10	産業振興部	6
11	都市整備部、学校教育部	4
13	まちづくり政策部、会計課、監査委員事務局	3
16	市長室、企画政策部、土木部、選挙管理委員会事務局、 農業委員会事務局	1
21	議会局	0

以 上